

歴史に学ぶとは

記憶というものはあまり確かではないと日常的に経験しています。しかし記録というものは、記載した誰かの判断が入っているとは言え、記録以後の変化は発生しないのだから少しは確かだと思っても良いでしょう。この記録が長い時間の中で積み重なった結果、歴史として扱われるようになるのです。

歴史という言葉は、一義的には有史以来の人間社会の変遷を示すのですが、ただ時間の経過を示すということもあります。宇宙の歴史や人の遺伝的歴史のような悠久の歴史を学ぶのも重要なことですが、より身近に感じるのは歴史を人が直接紡いできた有史以来のものです。平安時代から昭和の時代までの人間がそれぞれの時代を生き抜いて、時代とは関係のない普遍的な人の英知と強さ、また愚かさや弱さを伝承してきた結果は、他人の失敗からも学ぶことができる素晴らしい機会だと思っています。

長崎という土地でも多くのことを学ぶことができます。鎖国時の長崎は唯一海外

に開かれた窓口であり、蓄積された文化が日本の文明開化を生み出したのですから、そこに関わった多くの先達から学ぶことも多いでしょう。また、キリスト教が禁止されていた時代を生きた潜伏キリシタンの苦心も、つい73年前の原子爆弾の惨禍から再生した長崎の人の生き方も私たちに大きな示唆を与えてくれます。



ただ歴史はこれだけではなく、個人にもあり、年を経る度に厚みを増していきます。自分の若い頃を振り返り、また若い人を見ていると、自分の夢に向かってガムシャラに挑戦することは本当に大切なことだと思います。当然そこには無謀さもあり、思慮の足りない部分もあり、失敗することも多いでしょう。しかし失敗の原因を考え、そこから学び、次の機会をうかがうガッツ(気力)が自分の人生を掴み取る道ではないかと考えています。さらに自分の経験だけでなく、先人の経験からも学ぶのが歴史であり、ここを真剣に学ぶことが、より自分の信じる道に突き進む方法ではないかと思っています。

河野 茂

CONTENTS

長崎大学広報誌
[チヨ－ホ－]
Choho Vol.66

本誌記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報誌Choho vol.〇から」と明記してください。学外の方は、事前に広報戦略本部までご連絡願います。

学長室だより	歴史に学ぶとは	1	表紙のはなし 教育学部4年の石橋千尋さん(左)と新田唯さん。親友の2人が教育実習でお世話になったのは、南島原市有家町の蒲河小学校です。収穫祭が行われたこの日、学校には保護者や地域の皆さんが大集合しました。
特集	長崎で学ぶ	2	
サークルの星!	鯨類研究サークル Balaena/ 機械ガール/熱帯医学研究会	13	
Topics	世界を動かすグローバルヘルス 人材育成プログラム	15	
追悼	下村 脩博士を偲ぶ	17	
グラバー図譜	ブリ/山口敦子	19	
Information	入学試験情報 クイズ&編集後記	21	